

教育長賞

(小学生の部)

あいさつで社会を明るく

岸和田市立常盤小学校 6 年 美藤 夏那 さん

わたしは社会を明るくするためには、あいさつが大切だと思います。

なぜなら、あいさつをすることで相手も自分も良い気持ちや笑顔になれると思ったからです。例えば朝、学校で友達や先生とあいさつすると明るい気持ちで一日をスタートできると思います。反対にあいさつをして相手から返事がないと無視されたのかな、と不安な気持ちになり、明るい気持ちで一日をスタートできないと思います。なので、あいさつをすることでお互いが笑顔になれるので、あいさつは大切だと思います。

家でも、朝起きたときに「おはよう」と言うことは何気ない会話ですが、これも「おはよう」と言わないと気まずくなると思います。また、学校や外に遊びに行くときに「行ってきます」「行ってらっしゃい」という言葉も大切です。なので、たとえ「おはよう」「行ってきます」などという言葉が当たり前だとしても、大切な言葉の一つです。

あいさつには笑顔が大切だと思います。例えば、学校の行き道や帰り道に立っている見守り隊の人に「おはようございます」「行ってきます」などという言葉で笑顔で言うと見守り隊の人、立ってて良かったな、と思ってもらえると思ったからです。

わたしは、あいさつには不思議な力があると思います。それは「おはよう」「こんにちは」「はじめまして」「よろしく」などという、たった一言で会話が広げられ、親しくない人でも仲良くなれるきっかけの言葉になると思ったからです。また、あいさつをすることで気分も印象も良くなります。なので、あいさつには不思議な力があると思いました。

あいさつには色々な言葉があります。それは、「おはよう」「おやすみ」「こんにちは」「さようなら」「ありがとう」「どういたしまして」「ただいま」「おかえり」「ごめんね」など、たくさんの言葉があります。これらのあいさつも大切だと思います。

例としては、「ありがとう」という言葉は、何かを手伝ってもらったときに「ありがとう」と言うと、相手も手伝って良かったな、と思ってもらえると思います。「おかえり」という言葉は、学校から帰ってきてお母さんやお父さんに「おかえり」と言われると安心できると思います。「ごめんね」という言葉は何かミスをしてしまった時に「ごめんね」と言うによっぽどのことがない限り相手は許してくれると思います。反対にミスをしてしまって「ごめんね」と言わないと相手からの印象が悪くなり、不快に思うと思います。

なので、このような言葉は当たり前かもしれませんが、言わないと印象が悪くなることもありますし、反対に言うと印象が良くなることもあるかもしれません。

あいさつの言葉はたくさんありますが、どれも大切な言葉の一つです。社会を明るく

するためには、たった一言のあいさつが大切なのです。

来年は中学生になり、違う小学校の子とも同じクラスになります。新しい環境にもなるので、あいさつをきっかけに仲良くなれたらいいなと思います。